



「風さやか」通信（第1号）



長野県オリジナル米：「風さやか」栽培者のみなさまへ

田植えが最盛期を迎える頃となりましたが、今年も美味しい「風さやか」が収穫できますよう適正な栽培管理をお願いします！

実需の米屋さんからは「風さやか」の

『品質向上』と『産地間の均質化』

が要望されています！

J Aの栽培基準、栽培ポイントを実践し、長野県が誇るブランド米に育てましょう！

今さらですが・・・「風さやか」栽培の留意点・ポイント

1. 栽培適地を守りましょう！

標高600m以下
(北信地域は400m以下)

「風さやか」の栽培適地は「コシヒカリ」の高温障害が危惧される上田、松本、南信州、長野、北信地域などの標高600m以下（北信は400m以下）の地帯です。

「風さやか」は中晩生品種であるため、高標高地帯や極晩植栽培は、登熟に必要な気温が不足して、収量及び品質が低下します。

2. 適期移植を守りましょう！

標高600m以下の地域
・・・5月中下旬
標高300～500m
・・・5月下旬～6月初旬

「風さやか」を早植えをした場合、成熟期を過ぎると急激に胴割粒が増加する傾向にあります。

逆に晩植では登熟が遅延し、収穫時期がわかりにくく、未熟粒等の混入が多くなり品質が低下してしまいます。

田植えは地域の標準的な時期に行いましょう。

3. 適正な籾数確保に努めましょう！

目標籾数
・・・37,000粒/m²

「風さやか」は面積当たりの籾数が多くなると、多収傾向になりますが、整粒歩合が低下し、品質が悪くなります。理想的な籾数は37,000粒/m²程度で、穂数は400本/m²を目標とします。

適正な籾数を確保するため、多肥栽培や過度な疎植栽培は避け、中干による籾数制限を行いましょう。

※ 「風さやか」推進協議会では、「風さやか」を通し、生産者・実需者・消費者のつながりを深め、長野米の品質向上を目指します。今後も定期的に「風さやか」通信を発行していきますので、現地の声も是非お聞かせください！